

平成27年度

”函館・大沼・噴火湾ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート			報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2016/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H27						
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-		「美しい景観とは何かについて考える」機会がほとんどないため、地域活動に展開していないのが実情であることから、次年度勉強会や現地診断等による考える場の創出を図っていきたい。	
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-			
			-	-	-	-			
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-		上記の勉強会や現地診断の中で、ビューポイントの発掘も合わせて行っていきたい。	
		H17シーニックバスツアーの開催	-	-	-	-			
			-	-	-	-			
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-			
	フォトコンテストの開催	-	-	-	-				
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート運営 代表者会議	平成27年4月29日(祝)	約158名 主催者:148名 一般参加:10名	A - 1	上記の勉強会や現地診断を通して、今後の活動の展開についても検討を行っていききたい。また、シーニック清掃活動やお花の植栽活動等の既存活動の継続して続けていきたい。	
			-	-	-	-			
		植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成27年6月～10月	約1,000名 主催者:約1,000名 一般参加:若干名			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
		景観阻害の改善	-	-	-	-			
	地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ＆ラリーの開催	-	-	-	-		きじひき森林公園で行っているシーニックの森づくり事業について、今後も様々な機関との連携を通して、活動を継続していききたい。
横津岳ガイドツアーの開催			-	-	-	-			
八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供			-	-	-	-			
自然環境教育プログラムの提供			シーニックの森づくり事業～植樹＆すすき刈り～	NGO函館自然観察会	平成27年8月23日(日)	約40名 主催者:約30名 一般参加:約10名			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
ガイドの発掘・育成		大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-		ガイドの発掘育成については時間がかかるため、今後の展開についてルートの中で検討を行っていききたい。	
			-	-	-	-			
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-			
			-	-	-	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート			報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2016/3/31	
地域			H27						
	地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in石別住民センター	シーニックdeナイト実行委員会	平成27年11月28日(土)	約50名 主催者:約10名 一般参加:約40名		ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイトは、まさに3/26新幹線開業に向けた、ルート一体となったおもてなしの気持ちで実施した取組であった。既存のシーニックdeナイトも、今後より一層おもてなしの気持ちを持って取組を発展継続していきたい。	
			キャンドル製作体験会inはこだて朝市ひろば	シーニックdeナイト実行委員会	平成28年1月30日(土)	約150名 主催者:約50名 一般参加:約100名			
			キャンドル製作体験会inはこだて朝市ひろば	ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会	平成28年2月27日(土)	約250名 主催者:約50名 一般参加:約200名			
			キャンドル製作体験会in木古内保育園	ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会	平成28年3月5日(土)	約70名 主催者:約20名 一般参加:約50名			
			-	-	-	-			
	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成27年4月	-		ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイトでは、実行委員会発足(1/28)から実施(3/26)にいたるまで、キャンドル通信による内部での情報共有を図った。その共有ツールの良さを活かし、今後ルートの中でも取り込んでいきたい。	
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-		イベント等におけるテレビや新聞による取材のお願いを行い、取材をしていたことにより、個々の取組みを通して、シーニックのPRを行っており、今後も続けていきたい。	
		FMいるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-			
		FMいるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」	-	-	-	-			
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	-	-	-	-		ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイトでは、実行委員会発足(1/28)から実施(3/26)にいたるまで、キャンドル通信による内部での情報共有を図った。その共有ツールの良さを活かし、今後ルートの中でも取り込んでいきたい。	
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
		地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-			
			-	-	-	-			
-			-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太郎					報告年月日: 2016/3/31	
			H27					
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-		本ルートの最大の特徴である「縄文」を活かした体験メニューを地域住民及び観光客に提供し、実施した。子供向けのメニューが人気で参加人数も一般に比べて多いが、子供が参加するイベントには親も参加するなどの理由が考えられるため、子供向けメニューを核として、今後も活動を継続していきたい。
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催	-	-	-	-		
			-	-	-	-		
		「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」	-	-	-	-		
			-	-	-	-		
		縄文文化を体験	春の縄文染め	函館市縄文文化交流センター	平成27年5月24日(日)	約15名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			冬の縄文染め	函館市縄文文化交流センター	平成28年1月17日(日)	約19名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			漆塗り注口土器づくり～注口土器づくり～	函館市縄文文化交流センター	平成27年9月6日(日)	約8名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			漆塗り注口土器づくり～土器野焼き体験～	函館市縄文文化交流センター	平成27年10月4日(日)	約15名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			漆塗り注口土器づくり～土器の漆塗り体験～	函館市縄文文化交流センター	平成27年10月18日(日)	約9名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			縄文の植物利用～縄文の糸づくり前編～	函館市縄文文化交流センター	平成27年8月23日(日)	約6名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			縄文の植物利用～縄文の糸づくり後編～	函館市縄文文化交流センター	平成27年9月13日(日)	約5名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			縄文の植物利用～縄文の布づくり～	函館市縄文文化交流センター	平成27年10月25日(日)	約4名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			縄文の植物利用～繊維製品の草木染め～	函館市縄文文化交流センター	平成27年11月15日(日)	約5名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			海で縄文人の食べ物を探してみよう	函館市縄文文化交流センター	平成27年6月21日(日)	約13名 主催者:5名 一般参加:7名		
			縄文釣り体験～鹿角釣り針づくり～	函館市縄文文化交流センター	平成27年7月5日(日)	約15名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			ミニチュア漁網づくり	函館市縄文文化交流センター	平成27年8月9日(日)	約26名 ※一般参加が中心 (内訳不明)		
			-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート		報告者:函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日:2016/3/31	
			H27					
観光	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	-		ウェルカム北海道新幹線開業シーニックでは、28団体からなる実行委員会を組織し、それ以外にも多くの後援団体などと連携し、イベントを成功させた。既存のシーニックdeナイトにおいても、今後さらなる団体との連携を通して、活動を継続していきたい。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-		
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-		
		ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	シーニックdeナイト	シーニックdeナイト実行委員会	平成28年2月6日（土）、7日（日）、13日（土）	不明		
			ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト	ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会	平成28年3月26日（土）	不明	A - 2	
			場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-	-	
		歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-	-	
	-			-	-	-		
	-			-	-	-		
	-			-	-	-		
	-			-	-	-		
	「函館の港を船上から学ぶ」講座		-	-	-	-		
			-	-	-	-		
	その他		-	-	-	-		
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			

HAKODATE *Scenic Byway*

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、地域住民や観光客が集う場所で、おもてなしの心で清掃活動を実施。今年度は下記の4箇所で一斉に実施した。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。
- 【日時】4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭タワー、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センター、七飯町田園通り
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】主催者：148名、一般参加：10名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺



▲七飯町田園通り

HAKODATE Scenic Byway

活動名：ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト

【概要】 本事業は、北海道新幹線開業により、初めて本州と北海道がつながる3月26日、新幹線でお越しくださる大勢のみなさまへ「ようこそ」という歓迎の気持ちと、長年、地域が切望し続けた北海道新幹線開業の嬉しい気持ちを込めて、みんなで作ったキャンドルで、晴れの日をお出迎えしたいとの思いから、「ウェルカム北海道新幹線開業～メモリアル3.26～シーニックdeナイト」を実施しました。実施場所は、新函館北斗駅周辺、木古内駅周辺、函館駅周辺の3箇所で、統一キャンドルとしてワックス製のキャンドルを用いて、総数1,300個を設置し点灯しました。

【日時】 平成28年3月26日（土）

【場所】 新函館北斗駅、木古内駅、函館駅

【主催】 ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト実行委員会

【参加人数】 主催者：約70名 一般参加：不明



▲函館駅



▲新函館北斗駅

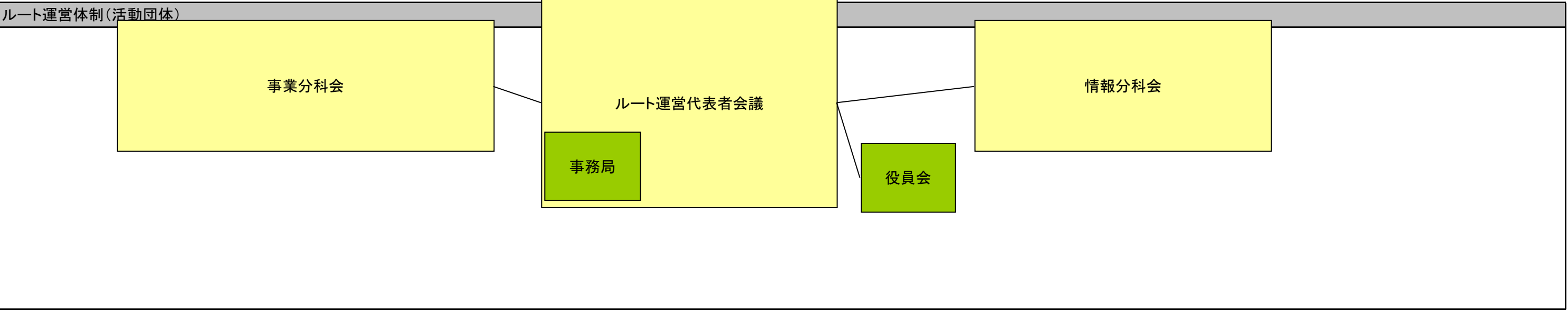


▲木古内駅

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗	報告年月:2016/3/31
--------------------	---------------------------	----------------

活動団体
函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、函館湯の川温泉旅館協同組合青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードユニティ21、北の縄文CLUB、NPO法人函館市埋蔵文化財事業団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活力ユニット、函館すぶれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、(一財)北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、(一社)北斗市観光協会、七飯町商工会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、鹿部温泉観光協会、森町観光ボランティアガイドの会、森町花いっぱい運動推進協議会、(一社)八雲観光物産協会



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議		25日											
	役員会		14日						27日					
	事業分科会													
	情報分科会													

ルート名称:函館・大沼・噴火湾ルート	報告者:函館開発建設部	報告年月:2016/3/31
--------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営行政連絡会議										21日			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2016/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	-	-	-	-	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていきたい。	-
	ビューポイントを発掘する	-	-	-	-		-
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成27年4月29日(祝)	函館開発建設部、函館市、七飯町	五稜郭タワー、七飯町田園通り、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市縄文文化交流センターでのシーニック清掃活動に参加した。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じて活動の報告を行った。今後は、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		A-1
		はこだて花かいどう	平成27年6月～10月	函館開発建設部、渡島総合振興局、函館市	植栽前の雑草取りやマルチシート敷設、植栽、維持活動、撤去への活動に参加した。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じて活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
地域	自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森づくり事業～植樹&すずき刈り～	平成27年8月23日(日)	函館開発建設部	活動への参加を行った。また、行政連絡会議を通じて活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていきたい。	-
	ガイドの発掘・育成	-	-	-	-		-
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会in石別住民センター	平成27年11月28日(土)	函館開発建設部	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
		キャンドル製作体験会inはこだて朝市ひろば	平成28年1月30日(土)	函館開発建設部、函館市、渡島総合振興局	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じてこれまでの活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会inはこだて朝市ひろば	平成28年2月27日(土)	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、函館市	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じてこれまでの活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
		キャンドル製作体験会in木古内保育園	平成28年3月5日(土)	函館開発建設部、函館運輸支局、渡島総合振興局、木古内町	キャンドル製作体験会に必要な牛乳パックの提供や活動への参加を行った。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じてこれまでの活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
	内部的な関心の共有、意識醸成	-	-	-	-		-
	地域メディアとのタイアップ	-	-	-	-		-
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	-	-	-	-		-
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	海で縄文人の食べ物を探してみよう	平成27年6月21日(日)	函館開発建設部	活動への参加を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていきたい。	-
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト	平成28年2月6日(土)、7日(日)、13日(土)	函館開発建設部、函館市、七飯町、八雲町、渡島総合振興局	活動への参加を行った。また、HPを通じた活動のPRを行うとともに、行政連絡会議を通じてこれまでの活動の報告を行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		-
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト	平成28年3月26日(土)	函館開発建設部、渡島総合振興局	活動への参加を行った。また、HPを通じた活動のPRを行った。今後、行政連絡会議を通じた活動のPR及び参加呼びかけが課題。		A-2
	歴史を学び活かす	-	-	-	-		-

※表中“★”は、H25新規に実施した活動